



UP DATE



■ No-Dig ヘルシンキ, ISTT 総会・発表会・展示会

10月2日、ヘルシンキ（フィンランド）にてISTT総会が開催され、事務局から金子事務局長、平野国際部長の2名で参加しました。当日は28の加盟協会中、23の協会が出席。1年間の活動報告と今後の活動計画について確認しました。

10月2日～5日の期間で発表会・展示会が開催されました。発表会は18のセッションで57件の発表があり、我が国からは5件の発表がありました。展示会は、各国企業・団体により55のブースが設置されていました。多くの参加者により、活発な交流が見受けられました。

■ ISTT 前会長 Kaukonen 氏来訪

10月25日、ISTT前会長のKaukonen氏がJSTT事務所に来訪されました。JSTTの取り組みについてご説明をしたところ、講演会、セミナー、現場見学会等の活動の多さ、ソーシャルコスト委員会や工法ナビに特に関心を示され、熱心にご質問をされました。Kaukonen氏からは、任期中の思い出や会長退任後もISTT理事として活動に精力的に関わっていく予定であることを伺うことができました。

■ 非開削技術見学会

11月1日～2日で、非開削技術見学会を開催しました。

11月1日に東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所を見学し、東日本大震災による津波による被害、原子力事故の事実、廃炉事業の現状を確認しました。11月2日に中川ヒューム管工業(株)郡山工場を訪問し、工場の概要や製品の説明を受けたのち、推進用遠心力鉄筋コンクリート管の製造工程や、次世代コンクリート「イータフコン」のプラント等を見学しました。

■ 第33回非開削技術研究発表会

11月22日、当協会技術委員会主催、(公社)日本推進技術協会後援により、品川シーズンテラスカンファレンスにて開催致しました。

今年度も継続学習制度のCPD（土木学会）、CPDS（全国施工管理技士会連合会）の認定を受け、当日は85名（会場参加53名、Web参加32名）の聴講者にご

参加頂きました。

発表会は、防災、非開削技術（応用）、地中掘削（事例）調査・修繕という4つのセッションで、14件の発表が行われました。

各セッションの座長を当協会の技術委員に依頼し、座長の進行のもと、活発な質疑応答がなされ、盛況のうちに終了することが出来ました。

今回も技術委員による採点が行われ、優秀賞については来年度の総会で受賞者を表彰させて頂く予定です。

■ ベトナム研修会

12月6日～8日、ハノイ（ベトナム）にて研修会を開催しました。JICAベトナム事務所、在越日本大使館、エンサ下水処理場建設現場、管材工場、シール材工場の訪問・見学を通じて、非開削技術の海外展開事例を現地で学びました。

■ 委員会活動

(1) 編集委員会

第18回編集委員会を10月12日（水）15時より、(公社)日本推進技術協会会議室にてハイブリッドで開催しました。委員会では、機関誌121号の概要紹介、機関誌122号の特集記事執筆依頼などの準備状況確認を確認しました。

また、11月30日（水）16時より、第123号機関誌特集記事ワーキングを開催し、特集テーマ「極小口径管、弧状推進、地下水位低下技術」の記事執筆依頼先、依頼内容について検討しました。

(2) 地下探査技術委員会

第48回地下探査技術委員会を12月9日（金）午後、応用地質(株)三次元探査検定センターにて、開催しました。施設見学とともに、地下探査技術の普及拡大に向けた取り組みについて議論しました。

(3) 工法ナビゲーションシステム運営委員会

第68回工法ナビゲーションシステム運営委員会を12月16日（金）に、オンライン方式で開催しました。委員会では、システムの運用状況やシステム改修状況を確認し、今年度のシステム改修計画を中心に審議致しました。